

6月の園だより

令和6年5月30日
杉並区立西荻北子供園
園長 須田 なぎさ



「ありがとう」でみんな笑顔

園長 須田 なぎさ

先日、園庭の木に、野鳥の巣があることが分かりました。親鳥は、必死に身を守り、大切に育てていたのでしょう。ひな鳥が巣立つときになって、巣があることに気付きました。親鳥の飛び方を見習って無事巣立っていったようです。

5月9日、年長そう組と一緒に電車に乗って井の頭自然文化園に遠足に行ってきました。動物を見たり、乗り物に乗ったりして楽しむことができました。遠足では、いつもの弁当に加えて、荷物が多く、カバンは重そうでした。しかし、そう組には、「おも～い。」「つかれた～。」という子は一人もいませんでした。

昼食後、使用したレジャーシートや水筒をカバンに入れることに、四苦八苦している子がいました。始めは、自分でどうにかしようとしていましたが、何人かの子から、助けを求められました。私は、レジャーシートの畳み方、カバンの中への入れ方のコツを伝えながら、一緒にやってみました。カバンの中にすべての荷物を収めてチャックをしめると、みんな自然に「ありがとう。」と言ってくれました。なんて素敵な子たちなのでしょう。とても幸せな気持ちになりました。



♪ありがとうっていったら みんながわらってる そのかおがうれしくて なんどもありがとう♪という『ありがとうの花』の歌のように、「ありがとう。」の言葉は、言っている人も言われた人も、幸せな気持ちになり、笑顔になります。脳科学的にも、「ありがとう。」と言葉にすると、脳内に幸せホルモン・集中力が上がり意欲的になる幸福物質・愛着を形成される愛情ホルモンなどが分泌されるそうです。

これまで、西荻北子供園の子どもたちを取り巻くすべての大人が、「ありがとう。」という言葉で、子どもたちに対して自然に口にしていたのだと思います。そして、「なんでいわないの。」「いわないとだめでしょ。」というように叱るのではなく、穏やかな口調で諭したり、促したりして、さらに、自分から言えたときに、認める言葉がけをしていたのだと思います。そのような素敵なコミュニケーションが、自然に心からの「ありがとう。」を生み出しているのでしょう。

きれいに咲いている“ありがとうの花”を、これからも枯らさないように、大人がまず笑顔で模範を示し、一つ一つのやりとりを大切にしていきたいですね。

最後になってしまいましたが、松葉杖を持った私に、「どうしたの?」「大丈夫?」「気を付けてね。」など優しい言葉をかけてくださり、皆様本当にありがとうございます。





子どもたちの様子と今月のねらい



3歳児 うさぎ組

汗ばむような日が増えてきました。園庭では、裸足になって水や泥の感触を味わうことを楽しんでいます。遊ぶうちに、場所によって泥の温度が違うことに気付いたり、日に当たると泥がパリパリに乾いたりすることに気付く姿も出てきました。「何でだろう?」「おもしろい!」と思いをもち遊ぶことを楽しんでいます。

また、先月植えた枝豆の種(大豆)から芽が出たり、ミニトマトの赤ちゃんがなったりしています。自分たちが植えた野菜に関心をもって、「水をあげたい!」という気持ちから、天気のいい日は気付いた幼児が水やりをしています。植物への興味・関心や、お世話してあげる気持ちを育てていきます。

<今月のねらい>

○好きな遊びを見つけて自分なりに楽しむ。

○水・砂・泥の感触を楽しんだり、水の冷たさや心地よさを感じたりして遊ぶ。

○保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。

<家庭との連携>

今月からプール指導が始まります。水の心地よさを味わうことも大切ですが、自分で衣服を着脱したり、遊ぶための約束を聞いて守ろうとしたりすることも学べる機会です。ご家庭でも、お子さんが自分で着替えたり、濡れたところを拭いたりする機会を作り、自分でできることを少しずつ増やしていきましょう。

4歳児 くま組

それぞれがやりたい遊びを見つけて遊んでいます。砂場では、何度も水を運び大きなプールや川にして、水や泥の感触を楽しみました。室内では、自分なり食べ物や昆虫などをつくり、つくったものを動かして遊ぶことが楽しくなっています。また、長いウレタン積み木があることで、友達と声を掛け合って積み木を運び、友達と家や病院、転がす場などをつくることも楽しくなってきました。

学級のみんなでは、大きな紙にクレパスでかくことを楽しんだり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりしています。今月も保育者や学級の友達と一緒にすることの楽しさを積み重ねていきたいと思えます。

<今月のねらい>

○身近な素材や用具を使ってついたり、つくった物を使って遊んだりする。

○自分の思いを言葉や動きで表しながら、保育者や友達と遊ぶ。

○砂・泥・水等に触れて感触を楽しんだり、開放感を味わったりする。

<家庭との連携>

水遊びが始まると、水着に着替えたり濡れた体を拭いたりします。自分でできた喜びが味わえるよう、子どもたちが扱いやすい物の用意をお願いします。また、お風呂のときに一人で着替えたり、タオルで体や髪の毛を拭いたりするなど、ご家庭でもやってみてください。

5歳児 そう組

5月9日に行った井の頭自然文化園の遠足が楽しかったことを受けて、遊びの中で再現して遊びました。キングブロックを使って乗り物をつくったり、大型積木でお化け屋敷をつくったりして、一緒につくる友達とのつながりも感じているところです。動物園ごっこでは丁寧に製作する面白さやつくったもので遊ぶ楽しさも味わっています。6月も友達と関わる遊びをする中で、自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりする経験もできるように支えていきたいと思っています。

<今月のねらい>

○自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりしながら、めあてに向けて友達と一緒に遊びを進める楽しさを感じる。

○興味をもったことに繰り返し取り組む中で、考えたり試したりする。

○園生活の中で必要なことに気づき、自分たちで進めていこうとする。

<家庭との連携>

先日は保育参観・懇談にご参加いただきありがとうございました。やりたいことを見付け、友達とのつながりを感じながら遊びを進める姿を実際に見ていただき、ご理解いただけたことと思います。今回の参観の姿をきっかけに、ご家庭でお子さんと「子供園の話」が深まる機会になれば幸いです。ぜひ、お子さんと子供園の遊びや過ごし方について話してみてくださいね。

ほしグループ 長時間保育

天気の良い日が続き、鬼ごっこや砂遊び、虫探しなど夕方まで元気に園庭で遊んでいます。各学年でいろいろな苗や種を植えましたが、ほしグループでも、千日紅、マリーゴールド、そして、綿の種を植えました。小さな芽が出たのを見つけると、「あ、芽がでたよ。」「こっちのはちょっと葉っぱが違うよ。」と、声を上げて教えてくれます。これから、少しずつ大きくなる姿に驚いたり、発見をしたりして育てていきたいと思っています。

製作遊びでは、糊に絵具を混ぜたものを両手の掌で紙に伸ばし、違う色を重ねて、その色合いや感触を楽しみました。「気持ちいい!」「違う色を混ぜて!」「あ、こんな色に変わった。」と、驚きや感じたことを言葉にしていました。乾いたものは、大きな池の形にして壁面に飾りました。今月も、子どもたちのやってみようという気持ちを引き出しながら、製作遊びを楽しんでいきたいと思っています。

